

城山・甲南両中学校が 全国中学校駅伝大会にアベック出場



▲壮行会で両校のチームと

第20回全国中学校駅伝大会が12月16日、山口県で開催され、城山中学校（男子代表）と、甲南中学校（女子代表）が県代表として出場し、男子28位、女子32位の成績でした。中でも城山中の川島貴也君は1区を7位で通過、甲南中の丸谷有衣さんは1区を9位で通過するなど健闘を見せ、川島君は今日20日に広島で行われる「天皇盃 第18回全国男子駅伝」に中学生代表として選抜されました。

両校とも陸上部だけでなく、バスケ部やサッカー部など全校生徒の中から長距離が得意な選手が集まり、「駅伝ドリームチーム」として練習に励んできました。

駅伝出場者の壮行会が6日夜、甲南庁舎で行われた際に、城山中の川島主将は「県代表として誇りをもって走ってきます」、甲南中の大木はな主将は「これまで応援してくださった方々に感謝の気持ちをもって走りきります」と力強く決意の言葉を語り、中嶋市長からは「本市や滋賀県の名誉と栄誉にかけて、普段の力をいかに発揮し、悔いのない走りをしてほしい」と激励を受けました。



▲甲南中チームの要大木主将 ▲区間7位の川島主将

水口在住の高校生が国体優勝 夢は都大路花の1区を駆けること



草津東高校1年生
おさわ なおと
小澤 直人さん

昨秋に行われた「ぎふ清流国体」の少年男子B（中学3年と高校1年）3,000m走で、水口町在住の小澤直人君（草津東高校1年）が優勝を飾り、日本一に輝きました。昨年は、小澤君も水口中駅伝チームのメンバーとして全国大会に参加しています。

小澤君は、「みんなに恩返しができた」と国体優勝の喜びを噛みしめつつも、更なる目標に向け、1日平均20kmの走り込みを欠かしません。今日20日に広島で開催される「天皇盃 第18回全国男子駅伝」にもチーム入りが決まっています。この先の夢を聞くと「都大路で花の1区を任されることです。そして、大学で箱根駅伝に出場したいですね」と答えてくれました。



▲都大路めざし地道な練習を

草津東高校陸上部監督で父親の小澤信一監督は「慢心しないで大きな夢を持ち続けてほしい。花の1区を飾るという夢を叶えられるよう、家族として監督として全力でサポートするので、これから現れるライバルたちに負けないでほしい」と今後の活躍に期待を寄せました。

※都大路：京都の大通りを走る駅伝界の甲子園、全国高等学校駅伝競走大会の通称。中でも最も長い距離を走る1区は各校一ス級のランナーが集うため花の1区と呼ばれます。

57 市史の小徑

「五十三家」の語るもの

昨年10月号で、「甲賀五十三家」の実在について、市史第二巻「甲賀衆の中世」の成果からは「二十一一家」に該当する家は確認できるものの、それ以外はその当時の史料からはよくわからないと記しました。甲賀での武士の登場は早く平安時代の末に確認できますが、その流れがその後の土豪たちにつながるかは不明で、南北朝の騒乱や応仁の乱のなかで消えていった家系がある一方、甲賀を飛び出して活躍した者も多かったようです。つまり、現在に伝わる以外にも多くの武士の盛衰があり、名のあつた家の数を「五十三」という固定的な数字であらわすことは難しいということになります。

前回は触れたように、「五十三家」や「二十一一家」というまとまりは、長享元（二四八七）年の「鈎の陣」に求められますが、具体的には江戸時代に入り「甲賀古土」を名乗った末裔たちにより主張されたものです。もちろん根拠となる伝承があったと思われませんが、むしろここでは「五十三家」の分布が歴史的背

景の異なる信楽谷を含めた郡の全域にわたり、その地名を名乗る武士として列挙されるところに大きな意味がありそうです。その地形から谷ごとに歴史を積み重ねてきた甲賀の人々が、ひとつの甲賀として、過去を学び、つながりを求める姿がここにあります。「五十三家」を学ぶことがおのずと甲賀を知ることにつながる。そのような歴史性と社会性をこの言葉は持っているのです。

- 【市史販売場所】
- 〈水口町〉ブックショップヤマカワ・山田書店・TSUTAYAさんぽうビー・水口歴史民俗資料館
 - 〈土山町〉ウエノ・道の駅あいの土山・新名神土山サービスエリア案内所土山歴史民俗資料館
 - 〈甲賀町〉かぶか生涯学習館
 - 〈甲南町〉ウイング甲南店・市史編さん室
 - 〈信楽町〉大宝堂谷川書店・信楽伝統産業会館・信楽中央公民館

【第5巻予約受付中】
3月刊行予定の第5巻「信楽焼・考古・美術工芸」は、2月8日（金）まで予約受付中。詳しくは甲賀市ホームページトップの「甲賀市史」バナーからご覧ください。

問い合わせ
歴史文化財課 市史編さん室
☎86-8075 ☎86-8216

*詳しくは「甲賀市ホームページ」→トップの「甲賀市史」のバナーからご覧ください

REDLIST [第8回]

レッドデータブックに掲載される絶滅のおそれがある野生生物の一覧をレッドリストと言います。私たちの身近な環境と甲賀市のレッドリストに載る生き物の関係について紹介します。

絶滅した草原のチョウ

昨年、甲賀市で絶滅したチョウの標本が確認されました。甲賀町出身の森地重博さんが1962年に地元で採集した、オオウラギンヒョウモンの雌（写真）です。

オオウラギンヒョウモンは羽を開けて7～8cmほどの大きさで、オレンジの地色に黒点の模様があるヒョウモン（豹紋）チョウです。本州～九州の草原に1960年代まで普通に生息していましたが、現在では九州の阿蘇山周辺や山口県の秋芳台など、広い草原がある地域にのみ見られます。近年、近畿地方ではツマグロヒョウモンという南方系で都市環境にも住めるヒョウモン類が増えたのと対照的です。

オオウラギンヒョウモンは幼虫がスミレの葉を多く食べるため、春にスミレが一面に咲き、初夏から秋にかけて、何度も草刈りされる手入れの行き届いた草原が生息地でした。1960年代までは、牛馬の餌や肥料として、若い草が頻りに刈られたのが、人の生活様式の変化で草刈りの機会が減少し、ススキやササなど背丈の高い植物が多い草地に変化したことが、絶滅の原因とされます。



▲オオウラギンヒョウモンの雌（森地重博さん採集・撮影）

しかし、市内には古くから牛馬が飼われた信楽地域や火入れの痕跡（黒ボク土）がある油日付近など、現在も草原特有の貴重な動植物が残る地域があり、注目されます。

問い合わせ
みなくち子どもの森自然館
☎63-6712 ☎63-0466

20歳がスタート！ 国民年金

20歳の皆さん、ご成人おめでとうございます。

国民年金は、すべての公的年金の基礎となるもので、日本国内に住所のある20歳から60歳までのすべての方は、国民年金に加入することが法律で義務付けられています。

20歳を迎えられるこの機会にしっかりと人生計画を立て、自身の将来のため、国民年金に加入し、保険料を納めてください。

保険料納付が困難な場合は、保険料の免除・猶予制度に該当する場合がありますので、ご相談ください。

※20歳の誕生月の前月に「国民年金被保険者資格取得届」が送付されます。必要事項を記入の上、保険年金課または旧支所の地域市民センターまでご提出ください。

問い合わせ
草津年金事務所国民年金課
☎077-567-2220
☎65-0688
☎63-4018